

## 平成23年1月三木市教育委員会（定例会）会議録

### ◇ 日 時

- 1 開 会 平成23年1月19日（水）午後2時00分
- 2 閉 会 平成23年1月19日（水）午後3時15分

### ◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

### ◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 前回会議録の承認
- 4 審議事項  
議案第27号 平成22年三木市スポーツ賞被表彰者の決定について
- 5 その他
- 6 閉 会

### ◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	教 育 委 員 長	里 見 俊 實
	2番	教育委員長職務代行者	水 島 慶 子
	3番	教 育 委 員	稲 見 秀 穂
	4番	教 育 委 員	井 口 徹
	5番	教育委員（教育長）	松 本 明 紀
事務局		教 育 部 長	篠 原 政 次
		教育部政策主幹	告 野 幹 也
		教育総務課長	清 水 正 則
		教育環境整備課長	井 上 博 務
		学校教育課長	穂 積 正 則
		文化スポーツ振興課長	松 村 正 和
		教育センター所長	梶 本 佳 照
		図 書 館 長	近 藤 昌 樹
		教育総務課課長補佐	稲 岡 孝
		教 育 総 務 課	西未路 雅 恵

傍聴者 0人

#### ◇ 会議内容

##### 1 開 会

里見委員長が、平成23年1月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

##### 2 会議録署名委員の指名

里見委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、稲見委員と井口委員を指名した。

##### 3 前回会議録の承認

里見委員長が、平成22年12月定例会の会議録の承認について諮り、全員一致で承認された。

なお、会議録承認審査の中で、委員から来年度以降の教育委員会の点検・評価報告書について次のように発言があった。

(委員) 12月定例会の審議の際にも話したが、田寺和徳教授、竺沙知章准教授からいただいた教育の質の保証や教育の成果についての指摘に応える必要がある。

全国学力・学習状況調査や基礎学力定着化事業などの成果を踏まえて、毎日何時間もかけて行っている学校の授業への取組は、教育の中で一番中心になる部分であるので、何らかの形で記載しておく必要があると考えている。

さらには、先日行われた成人式や毎月行われている校園長会などについても記載すべきであると考えている。

併せて、公表時期についても、もう少し早くした方が良いと思う。できれば9月頃に、遅くとも点検・評価をして改善につなげていくためには、予算編成が始まる頃には作業が完了していることが望ましい。

(事務局) 今回の点検・評価は報告書の様式変更等で遅くなったが、今後は、早い時期に着手したい。

#### 4 審議事項

里見委員長が、開催通知後に議案第27号「平成22年三木市スポーツ賞被表彰者の決定について」を追加した旨を報告した。

また、この議案第27号は被表彰者の決定に関する議案であることから、三木市教育委員会会議規則第7条第1項ただし書きの規定により、秘密会として日程の最後に審議することについて諮り、全員一致で同意された。

#### 5 その他

##### (1) 協議事項

なし

##### (2) 報告事項

###### ア 学校教育課の主要行事等について

###### ○ 穂積学校教育課長が次のように報告した。

第10回定例校園長会を平成23年1月13日に開催し、いじめアンケートの集計結果、教職員の交通事故防止等について報告、周知を行った。

主要行事については、1月7日に小・中・特別支援学校、11日に幼稚園の3学期始業式が執り行われたほか、14日に第5回同和教育伝承講座を開催した。

今後の予定として、中学1年生を対象としたスキー実習が既に16日から始まっているが、2月10日に全8校が終了する。そのほか、私立高校の入試が2月10日に、公立高校の推薦入試が2月14日に実施される。

###### イ 教育センター・青少年センターの主要行事等について

###### ○ 梶本教育センター所長が次のように報告した。

1月7日に第2回教育センター研究員研修会を実施した。本年度は6グループがテーマを決めて研究を行っており、2月25日に研究成果の発表を行う予定である。

また、1月25日に「子ども元気UP講座」として、大阪人間科学大学の原田正文教授を招聘して、いじめ・不登校を考えるフォーラムを開催する。

ウ 文化スポーツ振興課の主要行事等について

○ 松村文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

1月9日に成人式を開催した。対象者910人に対して、参加者679人となり、ほぼ例年並の74.6パーセントの参加率であった。なお、今回の式典で初の試みとして、新成人の方に受付、ピアノ伴奏、司会などの協力をお願いしたところ、16人の協力があった。

また、同日、小学生駅伝大会・市民駅伝大会をグリーンピア三木で開催し、小学生男子32チーム、同女子27チーム、一般男子16チーム、同女子11チームの参加があった。

今後の事業予定としては、1月14日から24日まで、かじやの里メッセみきで三木市学校園造形展を開催している。

また、1月24日に文化会館の大ホールで、小学校及び特別支援学校の6年生を対象にこどもの芸術鑑賞事業として劇団四季こころの劇場「ファミリーミュージカル『エルコスの祈り』」を開催する。こころの劇場は、劇団四季が全国にスポンサーを呼びかけて無料公演を行っているもので、このたび三木市でも公演されるものである。対象者以外に、市内の幼稚園児等にも無料で鑑賞してもらっている。

さらに、第57回三木市展をかじやの里メッセみきで、1月27日から30日までの4日間の会期で開催する。1月30日の最終日に入賞作の表彰式を行う予定である。

そのほか、現在、特別養護老人ホームの建設に伴い、大塚出張遺跡の埋蔵文化財発掘調査を行っている。調査期間は1月11日から2月末までの予定である。

(委員) 今回の成人式は、新成人の協力の下に運営されるという取組が持たれたことも良かった点として評価できる。

(事務局) 協力者として、こちらからお願いした方もあったが、自ら申し出ていただいた方もあった。

(委員) 少しざわついていたのは気になったが、概ねスムー

ズに進行されていた。新成人が成人式を1つの節目として捉えている感じが伝わってきた。

(委員) 式典の中の卒業当時の先生の紹介の場面では、ざわついていた会場が少し落ち着いた。

例えば、時間が許せば、小学校、中学校の卒業当時の先生方、小中それぞれ1人ずつ話をさせていただく時間を設けてはどうか。

(事務局) 検討させていただきたい。

(委員) 先程も申し上げたが、こうした成人式のことにも新成人の協力の下に、新成人自らが式典を運営したということも点検・評価報告書に書いてほしい。たとえ一部であっても自主的にやられた部分があったことは非常に良いことだと思うし、今後の拡大に期待する。

(委員) アトラクションでブラウンシュガーのコンサートがあったが、毎年出演者はどのように決められるのか。

(事務局) 文化振興財団が市内の若手アーティストを応援する会を作っており、それを応援する形で、そうした団体等の中から選考して出演いただいた。

(委員) 複数いらっしゃる市内のアーティストからどのように選考しているのか。

(事務局) 文化スポーツ振興課が、文化振興財団と相談しながら候補者の選考を進めている。

(委員) 出演者の側から、出演させてほしいという申し出はないか。

(事務局) これまでにはなかった。

(委員) 造形展や市展会場であるかじやの里メッセみきについて、先日も学校園造形展の作品を見に行ったが、会場がすごく寒いと感じた。

(事務局) 私も、そのように感じた。

時間が経てば暖くなるのかと受付にいらっしゃる方に尋ねたら、温度設定を高くしても、温まり難く1日中そのような状況であるとの答えであった。

施設の担当部局に情報を伝えて、改善を図っていきたい。

(委員) 反対に夏は暑いことを付け加えておく。

(委員) 報告事項にはなかったが、教育委員会内にスナッグゴルフの事務局を作ってほしいという話があるように市民の方から聞いたが、実情はどうか。

(事務局) そのような話は聞いていない。

スナッグゴルフに関しては、ゴルフ協会が主催し、講習会等を開催している。

(委員) 多くの業務を抱えている中で、教育委員会がしなければならないことと、そうでないことを吟味していく必要がある。

今後も、いろいろな事業が出てくることが予想されるので、適切な選択をしないと、膨大な量の事業を抱えることになり、收拾がつかなくなってしまうことが懸念される。

(委員) 難しい問題であり、これからの課題である。

市民の要望を何もかなえられないということになってもいけないし、現体制では、すべてを実施できるだけの余裕もない。

適切な対応を考えていただきたい。

## エ 図書館の主要行事等について

- 近藤図書館長が次のように報告した。

おはなし会については、三木図書館、吉川図書館、青山図書館でそれぞれ2回ずつ実施している。

また、より親しみやすい図書館づくりの一環として、絵本の中のお菓子づくり教室を12月22日に青山図書館で実施した。

(3) 次回定例教育委員会の開催日時について

里見委員長が、次回の定例教育委員会の開催予定日時について諮り、平成23年2月16日（水曜日）、午後2時から開催することを決定した。

6 審議事項（秘密会）

【議案第27号】平成22年三木市スポーツ賞被表彰者の決定について

○ 松村文化スポーツ振興課長が、次のように説明した。

三木市スポーツ賞表彰規則に基づき、県大会、近畿大会、全国大会などの各種スポーツ競技会で優秀な成績を残された個人又は団体を表彰することについて教育委員会の議決を求めるものである。

競技団体の推薦を受けた被表彰者について、1月13日に市スポーツ賞選考委員会で個人の部38人、団体の部17団体を選考した。被表彰対象者は、市内在住、在学、在勤者である。

これまでから対象者の把握には万全を期してきたが、更に表彰漏れを防ぐために、今回から自薦も受け付けることとした。

表彰式は2月26日に開催する予定である。

議案第27号は、三木市教育委員会会議規則第7条第1項ただし書きの規定により秘密会として審議したため、同規則第32条の規定により、審議内容については記載しない。

なお、審議の中で、委員から、市外の学校へ通学する個人の表彰者が現状では、レギュラー登録選手に限定されて

いるが、今後それ以外の選手も対象とすることを検討されたいとの発言があり、事務局から、昨年策定したスポーツ振興ビジョンに位置づける新たな顕彰制度の中で対応を考えたいとの応答があった。

里見委員長が、議案第27号について採決を行い、全員一致で原案のとおり可決された。

## 7 閉 会

里見委員長が、平成23年1月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。